

市内の出来事

～ つくばみらいのわだい ～



**NPO法人
「古瀬の自然と文化を守る会」が
2つの賞を受賞**



●「地域づくり総務大臣表彰」(地域振興部門) に選ばれる

この賞は、魅力あふれる地域づくりを積極的に推進し、顕著な功績のあった団体を表彰するものです。昭和58年度から実施しており今回で24回目となります。

つくばエクスプレスが開通したことにより、都市化の進むつくばみらい市において、自然を守り、地元の文化行事を復活させるなど、地域コミュニティの再生を試みている点が高く評価されました。

ふるせ 「古瀬の自然と文化を守る会」

寺畑地区内(古瀬)に今も残る昭和30年代の農村環境を保全しながら、都市住民と交流活動を行っているNPO法人。米作りなどの農業体験を通じて、絹の台自治会や東京都葛飾区教育委員会との交流を続けています。

また、葉の色の違う稲を使って田んぼに絵を描く、「田んぼアート」を毎年実施し、さらに活動の幅を広げています。

●「オーライ!ニッポン大賞」で「審査委員長賞」を受賞!

「オーライ!ニッポン大賞」は、全国の都市と農山漁村の共生・対流に関する優れた取り組みを表彰し、国民への新たなライフスタイルの普及定着を図ることを目的として、オーライ!ニッポン会議、農林水産省ほかの主催で実施しているものです。

今回で第4回となりますが、審査の結果、「古瀬の自然と文化を守る会」の数々の取り組みが評価され、「審査委員長賞」を受賞しました。

3月4日に、市民ウォークDAYが行われました。約150人ほどの市民が参加し、谷和原公民館から福岡塚まで、全長約7kmの道のりをウォーキングしました。

途中、城山運動公園付近では、「城山を守る会」のみなさんによる、焼き芋のサービスがありました。

ゴールの福岡塚さくら公園では、食生活改善推進協議会のみなさんによる豚汁がふるまわれ、参加したみなさんからは「おいしい」と笑顔がこぼれていました。



市民ウォークDAY